



Hachioji MAIL NEWS

JR 東日本輸送サービス労働組合 八王子地本
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION - HACHIOJI



ホームページ

2020.10.26
No. 043



Twitter

申2号 河辺駅の出札窓口の閉鎖及び駅業務委託 10月26日 第1項 に関する説明申し入れ 団体交渉その1

河辺駅の出札窓口を閉鎖する目的と根拠を明らかにすること。

【会社回答】ICTの活用による利便性の向上、指定席券売機等の利用が進んでいることなどから、JR東日本グループ経営ビジョン「変革2027」の実現に向けみどりの窓口を閉鎖することとした。

組合 職場で起きている様々な課題にどう向き合うのか。

会社 人の販売からICTにシフトしていく。コロナ情勢で変革のスピードアップしていく。チケットレス化、モバイル化を追求していく。これまでの購買行動を見て窓口を閉鎖する。

組合 発売枚数は。

会社 一日辺りマルスは160枚、MVIは230枚。

組合 明確な窓口閉鎖の基準は。

会社 H29.3.31に250枚の議事録はあるが、環境の変化を踏まえていく。

第2項

河辺駅の駅業務全般委託を行なう目的と根拠を明らかにすること。

【会社回答】駅の業務委託については、エルダー社員の雇用の場における選択肢の拡大を前提としつつも、「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事情」「駅業務を担う人材の育成」を踏まえて実施していく考えである。

組合 委託されて出来ない業務は。

会社 運転業務である。端末はあるがATOS化以降取り扱った実績はない。

組合 営業の退職者は。

会社 数字は示せない。2023年まで退職する方が出てくる。

組合 駅業務の人材育成は本体とJESSどちらがやるのか。

会社 現在の考え方は本体を想定している。新入社員はエリア採で駅業務となっている。駅の特上をしっかりと引き継ぐことも必要である。

組合 営業職社員の本体エルダーはいるのか。

会社 数は少ないがいる。

第3項

河辺駅の現在の体制と駅業務全般委託後の体制を明らかにすること。

【会社回答】グループ会社の運営体制は、グループ会社において決定することとなる。

組合 委託後の体制は。

会社 グループ会社で決定していく。泊りの駅務責任者の配置はない。必要なアドバイスは行なっていく。

組合 委託により泊りの管理者が必要なくなる理由は。

会社 管区制やブロック制などがある。将来のマネジメントを担える人を育成してきている。

組合 河辺折り返しの車内貫通できるのか。

会社 朝の3本は承知している。12車両も含めて作業実態を把握している。

組合 車内貫通の最終的判断はどちらが行なうのか。また、委託前に決まるのか。

会社 どちらが判断するかではないが委託前に決定する。

組合 遠隔操作は導入されるのか。

会社 2/1の業務委託で遠隔操作は導入しないが、将来はわからない。

第4項

レイアウト変更や現金取り扱い機器、バックヤードの整備について明らかにすること。

【会社回答】必要に応じて整備していく考えである。

組合 現在ある機器類は。

会社 MV1台、EM201台、EV201台、チャージ機1台、精算機1台、マルス1台、POS共用1台

組合 今後のレイアウトは。

会社 河辺駅社員から意見を聞き考えている。出来る事は意見を反映させていく。女性設備の計画は今のところない。

No. 44 (その2) へ続く